

南種子町有機農業推進協議会（鹿児島県南種子町）

R5 補正
R6 当初

77

背景・課題

青果用さつまいもの『種子島安納いも』は全国的にも広く認知され、農林水産省の地理的表示産品として登録されている。

南種子町は、2022年6月にゼロカーボンシティを、翌年3月にはオーガニックビレッジを宣言し、持続可能な食料システムの構築に資する取組として有機農業を推進している。『種子島安納いも』についても排水対策等による病害対策や有機質資材を活用した、環境にやさしい栽培技術の確立及び省力化が課題となっている。

成果目標と主な取組内容

- ① 明きょ・暗きょやレーザーレベラー等による排水対策
- ② 土壌分析に基づく有機質資材の活用
- ③ 簡易キュアリング等の活用
- ④ 直進アシスト等のスマート技術を活用

①～③の取組により、病害発生の抑制、化学肥料の施用量低減といった環境にやさしい栽培技術の有用性を検証し、技術を確立するとともに、④による省力化の実現を目標とする。



南種子町

構 成 員

南種子町、かごしま有機生産組合、熊毛支庁、生産者

品 目

かんしょ



額縁明きょ、弾丸暗きょ、レーザーレベラーによるほ場の緩傾斜均平作業を実施し、対照ほ場との比較により排水対策の有効性を確認

額縁明きょ作業の様子



直進アシスト機能付きトラクタを用いた畝立て・自動植付け機を活用した省力化



土壌分析及び土壌センサーによる土壌化学性の分析、坪掘りによる収量・品質調査を実施することで有機質資材の有効性を確認

露地センサー設置



キュアリング処理による貯蔵中の芋の腐敗発生状況の比較を行う

キュアリング施設等視察

普及に向けた取組

環境にやさしい、さつまいも栽培技術を確認し協議会で栽培マニュアル・産地戦略を策定するほか、明きょ・暗きょやレーザーレベラーによる排水対策、有機質資材、スマート農業機器の活用等取組の作業状況を町民に公開することで理解を深め、地域への普及を図る。

問い合わせ先

南種子町有機農業推進協議会（南種子町総合農政課内）
TEL：0997-26-1111（代表）